

網代小に絵本75冊

大垣西濃信金 野々村商店 私募債活用、贈る



北川浩子校長(左端)らに目録を手渡した(右から)清水洋一支店長、野々村清社長、岐阜市秋沢、網代小学校

大垣西濃信用金庫は、19日、岐阜市則松の野々村商店(野々村清社長)が発行した地域貢献型私募債「絆」を活用し、同市秋沢の網代小学校に絵本75冊を贈った。私募債の発行手数料の一部から同金庫が書籍やスポーツ用品を購入し、発行した企業が寄贈先を指定する取り組み。網代小は野々村

社長の母校で親子3代で通っていることから、取引店の同金庫穂積支店を通して寄贈が決まった。

同校で目録の贈呈式があり、清水洋一支店長と訪れた野々村社長が「読書は豊かな心が育つ。少ない本だが活用して」と北川浩子校長に目録を手渡した。

児童を代表し、図書委員会でも6年の長谷川棟悟委員長(12)と早川拓真副委員長(12)が「読み聞かせなどをして全校の児童の皆さんに楽しんでもらいたい」と話した。

(大賀由貴子)